

パワー フィックス

(Power Fix)

パワーフィックスは、ナイロン用酸性染料一浴固着剤で湿潤堅牢度を著しく向上させます。一浴固着剤でありますので、作業が簡素化され経済的で使いやすく、また従来のタンニン酸一吐酒石と同等もしくはそれ以上の堅牢度を得ることができます。

(1) 性 状

外 観	褐色液体
成 分	タンニン系アンチモン化合物
イオン性	アニオン
溶 解 性	水に易溶
pH	3 ± 0.2

(2) 特 徴

- (A) 一浴処理で、湿潤堅牢度を著しく向上させることができます。
- (B) パワーフィックスで処理した後、更に弊社製品のフィックスソルトLで固着処理することにより、特にスチームセットによる堅牢度低下を防ぐ事が出来ます。
- (C) 処理による色相のくすみは殆どありません。

(3) 使 用 方 法

染色の濃度、希望される堅牢度、及び使用染料各々の堅牢度によって、使用量も違ってきますが一般に下記使用量をおすすめします。

染 料 濃 度	パワーフィックス (o.w.f)	フィックスソルトL (o.w.f)
淡 色	2~4%	1~2%
中 色	3~5%	1.5~2.5%
濃 色	4~8%	2~4%

酢酸 (90%) : 1ml/l

処理浴を、浴比約1:20~30に仕立て、水にて希釈したパワーフィックスの適量を添加し徐々に昇温して、80℃で約20分間処理して下さい。この時、処理浴のpHを3~4に調整して下さい。酢酸が最も良好です。処理後は十分に水洗いして下さい。フィックスソルトLを併用される場合は、パワーフィックスで処理後、浴を変えずに同浴に水で希釈したフィックスソルトLの適量を添加して、更に80℃で20分間処理して下さい。

(4) 処理時の注意

- (A) 染色後は、十分に水洗いして下さい。特にカチオン又はノニオン系均染剤等を使用の場合は、スカムやターリングの発生の原因となりますので、充分の水洗いが必要です。
- (B) 特に、フィックスソルトLを併用される場合には、パワーフィックスで処理するとき、温度(80℃)、時間(20分)を厳守して下さい。パワーフィックスの吸収が充分でないと、フィックスソルトLの固着効果が充分発揮できず、又スカム等の原因にもなります。
- (C) パワーフィックス及びフィックスソルトLはアニオン性の為、カチオン系ないしノニオン系助剤の混入には充分注意して下さい。

(5) 再染加工

まず、酒石酸2~5g/ℓ、85~90℃で約20分間処理し、続いてソーダ灰3~5g/ℓ、90~95℃で、約30分処理して下さい。この時浴比は出来るだけ大きい方が良好です。その後充分水洗いして再染工程に移って下さい。

(6) 包装

20kg入り アトロン缶

注) ご使用に際しましては、予め充分試験された上で御使用下さい。

富士化学工業株式会社

本社工場/〒640-8392 和歌山市中之島1570番地 TEL.073-423-1247 FAX.073-431-3005
東京営業所/〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-10-15 TEL.03-6231-1192 FAX.03-6231-1191
<http://www.fujichem.co.jp>

●特約代理店 _____